



トンボ玉作り体験

ガラスの生産は今から5,000年以上も前に、エジプトやメソポタミア地方で始まったといわれています。日本にはシルクロードなどの交易ルートを経て、中国大陸や朝鮮半島から伝わったとされていて、古くは縄文時代末頃の遺跡からも発見されています。

本来の“トンボ玉”はトンボの複眼に由来した点々模様の付いたガラス玉の事で、山梨県内でも発見されています。そんなガラスやトンボ玉の歴史・文化を学びながら、点々模様の“トンボ玉”を2個作成し、ストラップにしてお持ち帰りいただきます。



制作の様子



平林2号墳（笛吹市）出土
トンボ玉



製作見本

- 日 時 令和4年4月16日(土)
1回目 9:30～ 2回目 11:00～ 3回目 13:30～ 4回目 15:00～
(各回80分程度)
- 場 所 風土記の丘研修センター実習室
- 募集定員 16歳以上の方 各回2名ずつ 計8名
- 参加費 1名1,200円 (教材費・保険料:参加時にお支払いください)
- 申込方法 参加を希望するご本人が電話または来館にてお申込みください。
定員になり次第締め切ります。
- 申込受付 令和4年3月16日(水)より受付開始
- 持ち物等 肌の露出の少ない安全な服装、エプロン等、メガネ等(お持ちの方、目の保護用)
- 申込先 風土記の丘研修センター
甲府市下向山町1271 電話055-266-5286
開館時間:8:30～17:00
休館日:月曜日(3月21日は開館)、3月22日(火)

※新型コロナウイルス対策としてご自宅での検温とマスクの着用をお願いいたします。また感染状況によっては中止する場合があります。

■ ホームページ

山梨県立考古博物館

検索



山梨県立考古博物館
風土記の丘研修センター
Yamanashi Pref. Archaeological Museum